

ライオンズクラブ国際協会が新国際会長として ブライアン・シーハンを選出

(2022年7月1日、米イリノイ州オークブルック) - 世界最大の奉仕団体、ライオンズクラブ国際協会が、カナダ・モントリオールで開催された第104回国際大会の中で同団体の2022～2023年度国際会長としてブライアン E. シーハンを選出した。

シーハン会長は、ソフトウェア開発会社「ルーラル・コンピューター・コンサルタンツ」の創業者で最高経営責任者であり、ライオンズクラブ国際協会及びライオンズクラブ国際財団（LCIF）の強化に集中して取り組む。

「私たちの組織は、ライオンズとして奉仕している人々にとって大きな意味があります」シーハン語る。「しかし、私たちの奉仕を受ける人々にとっては、もっと大きな意味があるのです」

シーハンは、各地域のクラブに力を与え、2021～22年度以降も引き続き会員増強ができるようにするためのグローバルな会員増強イニシアチブを監督する。地域社会の高まるニーズに対応するために、シーハン各クラブに、ライオンズのインパクトを地域と世界の両方で高めることができる大規模で意欲的な奉仕事業に取り組むよう奨励している。彼はまた、ライオンズと力を合わせて、今年3億ドルの資金獲得という目標を突破したLCIFのキャンペーン100の成功のもとに前進していく所存である。

シーハン会長の今年のメッセージは「皆でやればできる」。私たちが直面する課題に対する解決策を生み出すためにチームワークとイノベーションへの情熱を取り入れてほしいという、世界中のライオンズと人々への呼びかけだという。

「私たちは単独でも極めて多くの善を行えますが、皆で力を合わせれば、不可能を可能にすることができます」とシーハンは言葉を続ける。「力を合わせる時、私たちは各地域社会、そして世界を、万人にとってより良い場所にすることができるのです」

シーハンは **1991** 年にバードアイランド・ライオンズクラブに入会して以来、グローバル会員増強チーム（GMT）リエゾン、グローバル指導力育成チーム（GLT）エリアリーダー、財務及び本部運営委員会委員長、ライオンズ大学コーディネーターを務めたほか、理事会アポインティとして各種委員会に所属するなど、国際協会内の数多くの役職を歴任してきた。

国際協会への貢献が認められ、これまでに、クラブ・ライオン・オブ・ザ・イヤ―、創始者会員増強賞、国際会長リーダーシップ・アワード、国際会長賞複数回、さらには国際協会より会員に与えられる最高の栄誉である親善大使賞を含む数多くの賞を受賞。

ライオンズの活動以外にも専門分野や地域社会に関わるさまざまな団体で活躍しており、バードアイランド・シビック・アンド・コマースの会長や、ラーニング・ファンハウス理事、数多くの学校委員会メンバーを務めている。**2011** 年には米国中小企業庁ミネソタ支部でスモールビジネス・パーソン・オブ・ザ・イヤ―も受賞している。

ライオンであり累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもあるロリ夫人とのあいだには、**2** 人の息子と **2** 人の娘がいる。このダイナミックなチームは、地域社会での奉仕活動と、世界中の恵まれない人々への献身に全力を尽くしている。

ライオンズクラブ国際協会について

ライオンズクラブ国際協会は、世界最大の奉仕クラブ組織であり、**48,000** 余りのクラブに属する **140** 万人以上の会員が、世界 **200** の国と地域で奉仕しています。

1917 年以来、ライオンズは労力奉仕と人道事業を通して各地域社会を強化してきました。ライオンズクラブ国際財団の惜しみない支援により、私たちはその奉仕のインパクトをさらに拡大しています。

ライオンズクラブ国際協会は、視力保護、環境保全、小児がん、食料支援、糖尿病、さらにその他の切迫した人道的ニーズに集中的に取り組むことで、人類が直面している最大の課題の克服に貢献しています。ライオンズクラブ国際協会の詳細については、ウェブサイト (lionsclubs.org.) をご覧ください。